

平成20年度第2回教育学習支援チーム会議議事録

開催日時 平成20年9月25日(木) 13:30~15:15

開催場所 福井キャンパス管理棟特別会議室

小浜キャンパステレビ会議室

○構成員

出席者 交野副学長(教育)、新宮准教授(経済学部)、廣瀬准教授(経済学部)、近藤准教授(生物資源学部)、本田教授(看護福祉学部)、菊沢教授(学教センター)、山川教授(学教センター)、亀田准教授(学教センター)

欠席者 木元准教授(生物資源学部)、日竝准教授(生物資源学部)、水田准教授(生物資源学部)、塚本准教授(看護福祉学部)

○事務局 江守教育・学生支援部長、田中課長代理、吉田企画主査、宇都宮主査

議事の概要

1 前回議事録(案)について(資料1)

平成20年度第1回教育学習支援チーム会議議事録(案)が承認された。

また、前期の授業評価調査の記述回答は、画像処理ではなく、個別に返送することを確認した。

2 議事

(1) FD事業について

① 授業評価について

● 前期授業評価について

資料2に基づき、事務局から平成20年度前期の授業評価結果が報告された。

全体集計の結果のうち、上段が学生の所属別、後段が部局別になっている意味が分かりにくく、後段だけでよいのではないかとの意見があった。これに対し、学生自身の態様について尋ねる前半の質問では、上段の集計も意味をもつという反論があった。

● 授業評価の経年変化について

資料5に基づき、菊沢教授から授業評価の経年変化について説明があった。

3つの質問で教員の質、学生の意欲、学生の満足が判定できること、4年間を通して前後期ともに、順調に評価が上昇してきたが、やや収斂する傾向がみられる旨の説明。

● 後期授業評価について

後期についても前期と同じ方法で実施することが承認された。

② 授業公開について

● 前期結果について

資料3に基づき、各学部の担当者から前期の授業公開の状況報告があった。

経済学部では検討会を授業中に行うことが難しい、海洋生物資源学科では後期に開催するのは難しい、などの意見があった。原則公開にしている学術教養センターからは公開までの手続きなどの説明と参観者は数件との報告があった。

● 後期および今後について

今後についても前期同様に各部局独自の方法を模索することが承認された。

③ 学内外の研修について

● 前期結果について

資料4に基づき、交野チーム長から前期の学内研修の実績報告と後期の予定の報告および学外

研修の参加報告があった。

● 承認事項および後期について

学術教養センター1件（前期実施済旅費）および看護福祉学部が予定している1件（通訳費を含めて上限5万円）の執行が承認された。

後期分については、9月30日までにチーム長まで各部局の希望を提出することが確認された。

④ その他

● 県内他大学とのFD事業の連携について

菊沢教授から、県内6大学のFD活動の連携に菊沢教授と本田教授が参加すること報告された。

連携活動はFD活動の情報共有と講演会などの共催を主とするが各大学のFD事業そのものは独立していることが確認された。

(2) 教育の情報化事業について

山川教授から次の3点について報告と周知依頼があった。

- ・ B b L Sのライセンス更新がされたため、10月6日に講習会を行うことが報告された。
- ・ 第2回初年次教育を考える会を9月29日に開催することが報告された。
- ・ 9月29、30日はLMSを停止することが報告された。

署名 副学長（教育）